

## 【公益事業の部】

### 《公益事業1.》

理学療法士の職業倫理の高揚を図るとともに、理学療法の学術及び技能の向上を推進し、もって県民の医療・保健・福祉の増進に寄与する事業

#### <事業実施の要旨>

理学療法は、理学療法士及び作業療法士法第2条によって「身体に障害のある者に対し、主としてその基本的動作能力の回復を図るため、治療体操その他の運動を行わせ、及び電気刺激、マッサージ、温熱その他の物理的手段を加えることをいう」と定義され、理学療法士は、同法第2条第3項によって「厚生労働大臣の免許を受けて、理学療法士の名称を用いて、医師の指示の下に、理学療法を行うことを業とする者をいう」と定義されている。

理学療法士は、医学的リハビリテーションを担う中核的職種として、高齢化社会の進む本県において社会的役割が増大していることから、県民に対する直接的な理学療法の実施と、理学療法士の資質向上によって、県民の医療、保健及び福祉を増進させることを目的として事業を行うものである。

#### <事業の構成>

当該事業は、次の5つの事業で構成される

##### 1. 理学療法を通じて、県民の医療・保健・福祉の増進に寄与するための事業

- (1) スポーツサポート事業
- (2) 医療・介護保険制度の正しい理解・普及事業
- (3) 理学療法の普及事業

##### 2. 理学療法士の職業倫理高揚並びに学術及び技術の向上に関する事業

- (1) 理学療法士の学術技能向上事業
- (2) 学会事業
- (3) 学術・研究普及事業

##### 3. 理学療法士の教育機関に協力し、理学療法士の資質の向上に寄与する事業

##### 4. 関連団体との連携および協力に関する事業

##### 5. 体験活動等による理学療法の知識の普及・啓発事業

#### <事業をまとめた理由>

上記の事業は、理学療法によって県民の医療、保健及び福祉を増進させるための手段という点で共通していることから、ひとつの事業としてまとめている。

#### <個別事業の内容>

##### 1. 理学療法を通じて、県民の医療・保健・福祉の増進に寄与するための事業

###### (1) スポーツサポート事業

###### 【趣旨・目的】

本事業は、スポーツ活動における医学的サポートを通じて、子どもから高齢者まであらゆる人が、生涯にわたって健康で豊かな生活を送ることができるようサポートすることを目的とする。参加選手が安全に競技に取り組めることができるように、競技種目特性に応じた効果的で医学的サポートを行なうことができる理学療法士が、実際の競技大会等においてサポートすることにより、参加選手が安全に競技等に取り組むことができ、傷害予防や健康増進に寄与する。

###### 【事業内容】

県内で行われるスポーツ大会やレクリエーション活動に参加する選手に対して、希望者に理学療法士としての専門的な知識や技術を基に、スポーツマッサージ、ストレッチ指導、アイシング、テーピング、相談事業等を行う。また、対象となる選手に質の高いサービスを提供できるように、事前に研修及び実技講習を行う。

###### 【事業例】

###### ●一般スポーツサポート事業

###### (事業内容)

スポーツ大会等の主催者からの要請を受け、スポーツ大会等におけるサポート事業を行う。具体的な内容として、希望する選手に対しスポーツマッサージ、ストレッチ指導、アイシング、テーピング、相談事業を行うことにより、参加選手が安心して競技に臨めるようサポートをすることであり、参加選手の傷害予防や健康増進に寄与する。

###### (対象者)

- ・スポーツ大会等の参加選手等

###### (共催)

- ・なし

###### (財源)

- ・正会員受取会費  
(事業報告)

#### ○さが桜マラソンサポート事業

《さが桜マラソン2022サポート》

新型コロナの影響により大会がリモート開催となったため、大会当日サポートおよび事前研修も中止とした。

#### ○第5回「孔子の里」トレイルランin多久サポート事業

新型コロナの感染拡大につながる恐れがあり、ブース設営を行わないこととなったため、サポート事業は中止とした。

### ●障がいスポーツサポート事業

(事業内容)

障がいスポーツ大会等の主催者からの要請を受け、大会参加選手に対するコンディショニングサポートを実施する。具体的にはスポーツマッサージやテーピング、ストレッチ、アイシング等のコンディショニングサポート全般である。障がい者を含めた大会となるため、選手の競技力向上および傷害予防、健康増進はもとより、社会参加の促進にも寄与する。

(対象者)

- ・スポーツ大会等の参加選手等

(共催)

- ・なし

(財源)

- ・正会員受取会費  
(事業報告)

#### ○ニューミックステニス大会サポート事業

日時:令和3年10月3日(日) 9:00~16:00

場所:嬉野市の鷹ノ巣公園テニスコート

内容:コンディショニングサポート全般

対象:参加選手11名

スタッフ:県士会会員2名

### ●スポーツサポート人材育成事業

(事業内容)

スポーツ大会等におけるサポート事業を行うための人材育成を行う。また、人材育成のため研修会等の開催や中央での講習会へ派遣を行い大会サポートが円滑に行える人材も同時に育成する。参加選手が安心して競技に臨めるようサポートをすることであり、参加選手の傷害予防や健康増進に寄与する。

(対象者)

- ・スポーツ大会等をサポートする会員

(共催)

- ・なし

(財源)

- ・正会員受取会費

#### ○スポーツサポート人材育成事業

《さが桜マラソン2022サポート準備事業(3回開催)》

事前研修を3回企画していたが、新型コロナの影響により大会がリモート開催となったため、大会当日サポートおよび事前研修も中止とした。

《人材育成事業》(日本理学療法士協会及び日本スポーツ協会主催の研修会や大会等)

\*新型コロナの影響により中止

《ブラッシュアップ研修会》

日時:令和3年7月3日(土) 14:00~18:00

場所:オンライン

内容:日本理学療法士協会が指定した内容

オリパラ大会活動に向けて、パラアスリートへの対応、理学療法実施のための英会話、急性期対応、テーピング

対象:会員で2020東京オリンピック・パラリンピックのスタッフとして参加予定で、2024年度の佐賀国スポ・全障スポへのサポートを行えるもの

受講料:会員:無料

参加者:会員17名

《研修会開催》

日 時:令和3年10月31日(日) 10:00~13:00

内 容:TOKYO2020 オリンピック・パラリンピックでの活動について

講 師:オリンピック選手村での活動

村中進氏(鶴田運動機能回復クリニック)

オリンピック競技会場等での活動

北島貴大氏(ひらまつ病院) 体操

東島撤兵氏(鶴田運動機能回復クリニック) バトミントン

大谷遼氏(鶴田整形外科) 陸上

陣内健太氏(ひらまつ病院) スポーツクライミング

井上幸輝氏(百武整形外科病院) 自転車

パラリンピック選手村での活動

野田賢一郎氏(信愛整形外科医院)

パラリンピック競技会場等での活動

彌富雅信氏(鶴田整形外科) 柔道

國分裕一氏(医療福祉専門学校緑生館) 水泳

秀島聖尚氏(鶴田整形外科) 陸上

対 象:理学療法士ならびにリハビリテーション関連職種

受講料:会員:無料、非会員:10,000円、他県会員:500円、他職種:500円、学生:無料

参加者:29名(会員21名、他県会員3名、学生5名)

## (2)医療・介護保険制度の正しい理解・普及事業

### 【趣旨・目的】

本事業は、医療保険制度、介護保険制度に関する情報を収集し、県下会員ならびに関係職種に向け周知させ、その内容を利用者ならび県民へ向け伝達し、正しく運用することとその制度改正の理解を促進する事業である。医療保険制度、介護保険制度といった社会保障制度は、県民医療・保健・福祉の構造的かつ機能的根幹をなし、県民生活に直接影響を与える。そのため、制度改正の把握、理解が必要であるが、各個人が情報を収集し、制度改正の内容を正しく理解していくことは限界があることから、組織的な対応が効果的である。当該事業による情報提供、正しい理解の促進は理学療法士をはじめとする医療関係者の援助となり、ひいては県民の利益に寄与できる。

### 【事業内容】

制度改正等に関するリハビリテーション関連職種からの問い合わせに対し、九州厚生局佐賀事務所とのやり取りを適宜行い、その内容を周知することにより、各施設で利用者ならびに県民向けに伝達していく。また会員が勤務する病院、施設の各種監査の情報に関して、それを収集し情報発信することにより、医療・介護保険制度の正しい理解と普及の促進していく。

### 【事業例】

#### ●メール等相談対応事業

(事業内容)

本会ホームページの「お問い合わせフォーム(メール)」等より、リハビリテーション施設基準や診療報酬・介護報酬等に関する相談を受け付ける。問い合わせ内容については本会の職能局で管理し、関係部署と協働して返答対応する。

(対象者)

・リハビリテーション関連職種(理学療法士、作業療法士、言語聴覚士など)

(共催)

・なし

(財源)

・正会員受取会費

(事業報告)

メール等への問い合わせに対し、適宜職能局にて対応した

## (3)理学療法の普及事業

### 【趣旨・目的】

本事業は、広報誌の発行や一般県民向けのセミナー等を通じて、県民の生活や健康に役立つ情報を発信することにより、県民の健康維持・増進ならびに疾病予防に寄与することを目的として実施する。この理学療法に関する普及啓発活動により、理学療法業務の理解を深め、理学療法士に対する社会的認識を高めてもらうようアピールしていく。

### 【事業内容】

広報誌の配布や、健康維持・増進や疾病予防目的にセミナー等を開催することを通じて、理学療法の専門的知識及び技術を、広く県民に普及・啓発していく。

### 【事業例】

## ●広報誌「ねっつ」発行事業

(事業内容)

掲載内容は、理学療法士の仕事の紹介、「ねっつエクササイズ」と称したテーマ別の運動紹介、各地区で実施されている介護予防事業や地域ケア会議などの情報、リハビリ体験記など、地域住民の健康維持・増進ならびに疾病予防に寄与できるような誌面構成とし、市町の保健・福祉関連施設など、地域住民が直接目に触れる機会が多い場所へ配布するほか、本会のホームページ上でも公開する。

(対象者)

・一般地域住民

(共催)

・なし

(財源)

・正会員受取会費

(事業報告)

・広報誌ねっつvol.7を令和4年3月に6000部発行

・本会ホームページにて、一般公開する

## 2. 理学療法士の職業倫理高揚並びに学術及び技術の向上に関する事業

### (1) 理学療法士の学術技能向上事業

【趣旨・目的】

本事業は、理学療法に関する新しい知見、技術の研究開発や理学療法士の専門性を高めるキャリアアップ支援を通して、理学療法の継続的な品質向上に努め、誰もがより適切な理学療法ならびにリハビリテーションを享受できるように取り組む事業である。医学は日進月歩であり、理学療法士は、医療法第1条の2ならびに4に定められているとおり、医療を受ける者に対し、良質かつ適切な医療を行うよう努めなければならない。そのため、理学療法士が専門職として県民の負託に応えるためには常に最新の医療技術の修得に努める義務があるが、医療技術の進歩を理学療法士個人の努力で網羅するには限界がある。そこで本会は本事業を通して、理学療法学の振興と理学療法士が良質かつ適切な医療を提供できるよう研修会を開催し、理学療法士が常に最新でより専門的な治療技術および知識の習得ができるよう支援する。

【事業内容】

研修会を、新人向けや疾患別・専門領域別に企画し、開催・運営する。我々リハビリテーション専門職は、所属する施設により担当する疾病や、障がい像は多種多様である。さまざまな人格、社会的背景を持った対象者と直接触れ合う専門職として、高度な知識と技術、さらには、豊かな人格をそなえる必要がある。適切なサービスと患者権利擁護の背景から、患者や利用者を中心として多職種がチームを形成し、対象者にとって有益な医療や介護が提供されねばならず、他職種を含めより多くの参加の機会を確保することで、学際的隣接領域の相互理解と医療・介護連携を効率的・効果的に図ることが可能となる。

【事業例】

### ●新人教育プログラム事業

(事業内容)

国家試験に合格した3年以内の新人理学療法士が主な対象者である。キャリアアップ事業に位置付け、基本的な知識習得を基礎に、理学療法士の質を向上させ利用者にとって有益な理学療法のあり方を学ぶことにより、県民の保健医療、福祉の向上に寄与することを目的とした。開催するプログラムは、公益社団法人日本理学療法士協会が定めた全国統一のテーマで行う。

(対象者)

・卒業後3年以内の理学療法士が主な対象で、本会会員および他県理学療法士も含む。

(共催)

・なし

(財源)

・正会員受取会費および受講費収入

(事業報告)

○1回目 日時; 令和3年4月19日(月) 19:30~21:15

場 所: オンライン

内 容: 「入会案内と手続きについて」 講師: 吉竹陽介氏(佐賀リハビリテーション病院)

「協会組織と生涯学習システム(A-2)」 講師: 片渕宏輔氏(佐賀県医療センター好生館)

受付手数料: 佐賀県理学療法士会に入会希望の者: 無料、会員: 無料、他県会員: 1科目につき500円

参加者: 46名(会員46名)

○2回目 日時; 令和3年7月4日(日) 9:20~17:30

場 所: オンライン

内 容:日本理学療法協会の新人教育プログラム(計12科目)2会場同時開催

第1会場

A-1:理学療法と倫理	講師:八谷瑞紀氏(西九州大学)
A-3:リスクマネジメント	講師:吉竹陽介氏(佐賀リハビリテーション病院)
A-4:人間関係及び接遇(労働衛生含む)	講師:小栗隆太氏(山口病院)
A-5:理学療法における関連法規	講師:梅崎政博氏(西田病院)
D-2:生涯学習と理学療法の専門領域	講師:圓城寺章史氏(ひらまつ病院)
E-2: コーチングとティーチング (コミュニケーションスキル含む)	講師:井原 雄彦 氏(ひらまつ病院)

第2会場

B-2:クリニカルリーズニング	講師:辻晃剛氏(さかえまち整形外科)
B-4:症例報告・発表の仕方	講師:竹井和人氏(緑生館)
C-5:地域リハビリテーション	講師:大川内直木氏(中部病院附属老人保健施設)
C-3:内部障害の理学療法	講師:大坪雅弥氏(白石共立病院)
C-2:運動器疾患の理学療法	講師:田中泰光氏(にしかわ整形外科クリニック)
C-1:神経系疾患の理学療法	講師:中田祐治氏(白石共立病院)

受付手数料:会員:無料、他県会員:1科目につき500円、非会員:10,000円、他職種:1科目につき500円  
参加者:53名(会員48名、他県会員4名、学生1名)

○3回目 2日間開催

日 時:令和4年1月16日(日) 8:30~18:30

場 所:オンライン

内 容:日本理学療法協会の新人教育プログラム(計8科目)

B-1 一次救命処置と基本処置	講師:村中進氏(鶴田運動機能回復クリニック)
B-2 クリニカルリーズニング	講師:辻晃剛氏(さかえまち整形外科)
B-3 統計方法論	講師:大田尾浩氏(西九州大学)
D-3 理学療法の研究方法論(EBPT含む)	講師:竹井和人氏(緑生館)
D-4 理学療法士のための医療政策論	講師:野方徳浩氏(済生会唐津病院)
E-1 臨床実習指導方法論	講師:井原雄彦氏(ひらまつ病院)
C-2 運動器疾患の理学療法	講師:峰松一茂氏(鶴田運動機能回復クリニック)
C-4 高齢者の理学療法	講師:北島保子氏(緑生館)

日 時:令和4年1月30日(日) 9:00~17:30

場 所:オンライン

内 容:日本理学療法協会の新人教育プログラム(計7科目)

A-1 理学療法と倫理	講師:八谷瑞紀氏(西九州大学)
A-2 協会組織と生涯学習システム	講師:圓城寺章史氏(ひらまつ病院)
A-3 リスクマネジメント(安全管理と感染予防含む)	講師:吉竹陽介氏(佐賀リハビリテーション病院)
A-4 人間関係および接遇(労働衛生含む)	講師:小栗隆太氏(山口病院)
A-5 理学療法における関連法規(労働法含む)	講師:梅崎政博氏(西田病院)
C-1 神経系疾患の理学療法	講師:江里口恵介氏(河畔病院)
C-3 内部障害の理学療法	講師:野中賢氏(ふじおか病院)

受付手数料:会員:無料、他県会員:1科目につき500円、非会員:10,000円、他職種:1科目につき500円  
参加者:201名(会員72名、他県会員129名)

○新生涯学習制度に関する研修会

日 時:令和3年10月28日(木) 19:30~21:00

場 所:オンライン

内 容:2022年4月からスタートする新生涯学習制度に関する研修会

講 師:白石浩氏(日本理学療法士協会理事)

●専門領域研修事業

(事業内容)

より専門的な知識・技能の習得にむけた方策支援を目的として、骨・関節系、神経系、内部障害系、地域リハビリテーション系、小児系など、各専門領域別による研修会や技能講習を実施する。

(対象者)

・リハビリテーション関連職種(理学療法士、作業療法士、言語聴覚士など)

(共催)

・なし

(財源)

・正会員受取会費および受講費収入

(事業報告)

#### ○スポーツ理学療法研修会

日 時:令和4年3月12日(土)15:00～18:10

場 所:オンライン

内 容:「オーバーヘッドスポーツ傷害・障がいに対する理学療法」

「スポーツ現場に対する理学療法士の関わり方」

～指導者・医師・コメディカルとの関わりを含め～

講 師:村木孝行氏(東北大学病院)

受講料:会員:無料、非会員:10,000円、他県会員:500円、他職種:500円、学生:無料

参加者:182名(会員54名、他県会員128名)

#### ○運動器理学療法研修会

日 時:令和3年11月14日(日)9:00～12:10

場 所:オンライン

内 容:変形性膝関節症に対する保存と術後のリハビリテーション～痛みに着目して～

講 師:平川善之氏(福岡リハビリテーション病院)

受講料:会員:無料、非会員:10,000円、他県会員:500円、他職種:500円、学生:無料

参加者:64名(会員63名、他職種OT1名)

#### ○呼吸理学療法研修会

日 時:令和3年9月12日(日)9:00～12:15

場 所:オンライン

内 容:急性期での呼吸リハビリテーション

講 師:岩井宏治氏(滋賀医科大学医学部附属病院)

受講料:会員:無料、非会員:10,000円、他県会員:500円、他職種:500円、学生:無料

参加者:35名(会員33名、他県会員2名、他職種OT1名)

#### ○小児理学療法研修会

日 時:令和3年8月28日(土)14:30～18:00

場 所:オンライン

内 容:障がいを持つ児の FUN について考える～今できること、これからできること～

講 師:奥田 憲一氏(九州栄養福祉大学)、榎勢 道彦氏(四天王寺和らぎ苑)

受講料:会員:無料、非会員:20,000円、他県会員:1,000円、他職種:1,000円、学生:無料

参加者:63名(会員18名、他県会員33名、他職種OT12名)

#### ○心血管理学療法研修会

日 時:令和3年8月1日(日)14:00～17:10

場 所:オンライン

内 容:心不全患者の生活・人生を支える理学療法 ～予防から緩和ケアまで～

講 師:濱地 望氏(国際医療福祉大学)

受講料:会員:無料、非会員:10,000円、他県会員:500円、他職種:500円、学生:無料

参加者:37名(会員36名、他県会員1名)

#### ○神経理学療法研修会

日 時:令和4年1月29日(土)14:00～17:10

場 所:オンライン

内 容:パーキンソン病に対する理学療法

講 師:松尾善美氏(武庫川女子大学 健康運動科学研究所所長)

受講料:会員:無料、非会員:10,000円、他県会員:500円、他職種:500円、学生:無料

参加者:89名(会員32名、他県会員56名、他職種OT1名)

#### ○地域理学療法研修会

日 時:令和3年12月18日(土)14:00～17:10

場 所:オンライン

内 容:地域在住高齢者に対するトレーニング効果のエビデンス～地域理学療法ガイドライン第2版を踏まえて～

講 師:松本 大輔氏(畿央大学)

受講料:会員:無料、非会員:10,000円、他県会員:500円、他職種:500円、学生:無料

参加者:56名(会員43名、他県会員13名)

#### ○徒手療法研修会

日 時:令和3年11月28日(日)9:00~16:20

場 所:オンライン

内 容:頰椎から肩甲帯・上肢の運動機能障害に対するアナトミートレインコンセプトの臨床応用

講 師:板場 英行氏(のぞみ整形外科クリニック)

受講料:会員:無料、非会員:10,000円、他県会員:500円、他職種:500円、学生:無料

参加者:73名(会員51名、他県会員20名、他職種OT2名)

#### ○リハスタッフのための介護技術研修会

日 時:令和3年6月19日(土) 10:00~16:00

場 所:オンライン

内 容:介助者自身の身体の使い方と対象者への触れ方・動きの誘導方法

対象者の生活を見据えた福祉用具の選び方・福祉用具を活用した介護技術とその伝え方 等

講 師:眞藤英恵氏(かんでんライフサポート株式会社 介護付有料老人ホームローズライフ京都 副館長・理学療法士)

受講料:会員:無料、非会員:10,000円、他県会員:500円、他職種:500円、学生:無料

参加者:11名(会員9名、他県会員1名、他職種OT1名)

#### ○学校保健・特別支援教育に関する研修会

\*新型コロナの影響により中止

#### ○倫理に関する研修会

日 時:令和3年6月28日(月)19:00~20:30

場 所:オンライン

内 容:業務及び業務外において気を付けなければならない職業倫理

講 師:安田聡剛氏(安田法律事務所)

受講料:会員:無料、非会員:10,000円、他県会員:500円、他職種:500円

参加者:会員133名

#### ●各地区症例検討会事業

(事業内容)

中部広域部、鳥栖広域部、伊万里有田広域部、杵藤広域部、唐津東松浦広域部の県下5地区内でリハビリテーション関連や隣接領域の研修会および症例検討会を開催し、その地区に従事するリハビリテーション関連職種の参加機会を確保することで、近隣の病院・施設の多職種による医療・介護連携を効率的に図ることも目的とする。

(対象者)

・リハビリテーション関連職種(理学療法士、作業療法士、言語聴覚士など)、リハビリテーション関連職種養成校学生

(共催)

・なし

(財源)

・正会員受取会費

(事業報告)

#### (中部広域部)

<第1回目>

日 時:令和3年9月8日(水)

場 所:オンライン

内 容:症例検討に関する演題等

受講料:会員無料、非会員10,000円、他県会員無料、他職種無料、学生無料

参加者:会員67名

<第2回目>

日 時:令和4年3月9日(水)

場 所:オンライン

内 容:症例検討に関する演題等

受講料:会員無料、非会員10,000円、他県会員無料、他職種無料、学生無料

参加者:会員45名

#### (鳥栖広域部)

<第1回目>

日 時:令和3年9月10日(金)  
場 所:オンライン  
内 容:症例検討に関する演題等  
受講料:会員無料、非会員10,000円、他県会員無料、他職種無料、学生無料  
参加者:会員19名  
<第2回目>  
症例集まらず中止。

#### (杵藤広域部)

<第1回目>  
日 時:令和3年8月3日(火)  
場 所:オンライン  
内 容:症例検討に関する演題等  
受講料:会員無料、非会員10,000円、他県会員無料、他職種無料、学生無料  
参加者:会員40名  
<第2回目>  
日 時:令和4年2月15日(火)  
場 所:オンライン  
内 容:症例検討に関する演題等  
受講料:会員無料、非会員10,000円、他県会員無料、他職種無料、学生無料  
参加者:会員34名

#### (伊万里有田広域部)

<第1回目>  
日 時:令和3年8月6日(金)  
場 所:オンライン  
内 容:症例検討に関する演題等  
受講料:会員無料、非会員10,000円、他県会員無料、他職種無料、学生無料  
参加者:47名(会員46名、他職種OT1名)  
<第2回目>  
日 時:令和4年2月4日(金)  
場 所:オンライン  
内 容:症例検討に関する演題等  
受講料:会員無料、非会員10,000円、他県会員無料、他職種無料、学生無料  
参加者:会員31名

#### (唐津東松浦広域部)

<第1回目>  
日 時:令和3年7月16日(金)  
場 所:オンライン  
内 容:症例検討に関する演題等  
受講料:会員無料、非会員10,000円、他県会員無料、他職種無料、学生無料  
参加者:会員55名  
<第2回目>  
日 時:令和4年1月21日(金)  
場 所:オンライン  
内 容:症例検討に関する演題等  
受講料:会員無料、非会員10,000円、他県会員無料、他職種無料、学生無料  
参加者:会員30名

## (2)学会事業

### 【趣旨・目的】

本事業は、科学的根拠に基づく研究の成果を一般に公開し、テーマに対して多面的・多角的に討議を興す機会として位置付けられる。対象は会員のほか非会員の理学療法士や他職種とし、県民公開講座では一般県民も含まれる。発表演題は、学術の専門家による査読を経て採択される。この学術活動をもって上位事業を具体化し、地域社会における高齢者、障害者福祉の増進、県民の保健、医療、福祉の向上に寄与することを目的としている。県民公開講座では、一般県民の健康維持・増進に寄与することを目的にテーマ、講師を選定する。

### 【事業内容】

年に1回、会場および運営にかかわる担当者を県下5地区の輪番制として開催する。一般演題発表、教育講演の他に、県民公開講座など一般県民が無料で参加できる講座によってプログラムされる。一般演題ではそれぞれのセッションに座長をつけ、適切な進行と質疑応答により演題に対して理解が深められるよう促す。

### 【事業例】

#### ●学会事業

(事業内容)

年に1回、会場および運営にかかわる担当者を県下5地区の輪番制として開催する。学会では学会長、準備委員長はじめ事務局、学術局、運営局による組織を構成し学会の企画、広報、運営、事務処理等をそれぞれの担当者が行う。内容としては、県民公開講座、教育講演の講座の他、一般演題発表として口述発表を行う。

(対象者)

・理学療法士、リハビリテーション関連職種(作業療法士、言語聴覚士など)、リハビリテーション関連職種養成校学生。「県民公開講座」に関しては一般県民

(共催)

・なし

(財源)

・正会員受取会費および受講費収入

(事業報告)

#### ○第29回佐賀県理学療法士会学会

日 時:令和3年11月21日(日)

場 所:オンライン

内 容:一般演題、県民公開講座、教育講演

テーマ:全人的復権への架け橋 ～生きる・暮らし・人生の「さいこう」～

学会長:大川内直木氏(佐賀中部病院附属介護老人保健施設)

準備委員長:坂井沙織氏(佐賀リハビリテーション病院)

教育講演講師:浜村明德氏(医師:小倉リハビリテーション病院名誉院長・介護老人保健施設伸寿苑施設長)

高橋哲也氏(順天堂大学保健医療学部理学療法学科)

県民公開講座講師:木村和也氏(RKK 編成制作局アナウンス室・アナウンス部長)

織田友理子氏(一般社団法人WheeLog代表理事・NPO法人PADM(遠位型ミオパチー患者会)代表)

受講料:会員:1,000円、非会員:10,000円、他県会員:2,000円、他職種:2,000円、学生:無料

参加者:201名(会員177名、非会員1名、学生23名)

### (3)学術・研究普及事業

#### 【趣旨・目的】

理学療法の臨床活動において、臨床的な判断を“経験則”だけに基づいて行うのではなく、基本的な理論や質の高い臨床研究による検証結果であるエビデンス(evidence)に基づき行うことによって、安全で効果的な理学療法が実践可能となる。その専門性の検証のためにも「研究活動」は欠かせないものであり、佐賀県内の理学療法士による研究論文、症例検討ならびに有識者からのトピックス等を学術誌に掲載することにより、佐賀県内の理学療法士間で情報の共有を図り、これらを対象者に還元するとともに、佐賀県内の理学療法士の知識及び技術向上に繋げることを目的とする。

#### 【事業内容】

県内の理学療法士による研究論文、症例検討、有識者によるトピックス等を掲載する学術誌の発行を行う。なお、学術誌の発行に当たっては、投稿規程に則って行い、学術誌部を設置した上で査読者による査読審査を経て掲載する。投稿者は本会会員および佐賀県下の理学療法士養成校における卒業研究論文で推薦できるものとする。

#### 【事業例】

#### ●学術誌発行事業

(事業内容)

学術誌部において、論文原稿の公募、査読者との連絡・調整、投稿原稿の取りまとめ、発行調整等を行った。掲載内容は、一般投稿論文、佐賀県理学療法士会学会優秀演題論文、短編論文等である。発行部数は1,300部とし、佐賀県内会員所属全施設及び公益社団法人日本理学療法士協会など、約310施設へ発送するほか、筆頭著者には別刷りを30部無料進呈した。また、本会ホームページに専用のバナーを設け、閲覧ができるように公開することとしている。

(対象者)

・佐賀県理学療法士会会員ならびに投稿者

(共催)

・なし

(財源)

・正会員受取会費

(事業報告)

・学術誌「理学療法さが」の発行

ISSN 2188-9325

Vol.8.No.1 2022(令和4年2月発行)

原著論文 9題、短報 3題

印刷部数:1350部

送付先:佐賀県理学療法士会会員、日本理学療法士協会、その他関係機関

### 3. 理学療法士の教育機関に協力し、理学療法士の資質の向上に寄与する事業

#### 【趣旨・目的】

本事業は、これから理学療法士を目指す者が、将来にわたって理学療法士としてふさわしい適性を身につけることができるように支援する事業である。理学療法士は、何らかの原因により心身の機能や日常生活動作能力に障害をもつ者を対象とするため、単に技術論のみで対処するのではなく、心理面や社会面にも配慮した対応ができる資質を身につける必要がある。したがって、理学療法士を養成する教育機関と本会が連携し、学生が臨床実習先で必要な知識を習得し、理学療法に関する適切な判断が行える素地をつけることができるための支援を目的とした事業である。本事業は理学療法士を目指す人材の育成にかかわるものであり、またその育成のあり方が将来にわたって医療・福祉の質に直接反映されることから、本会にとって重要な事業と位置付けている。

#### 【事業内容】

養成校から臨床実習者を受け入れる理学療法士に対し、臨床現場での教育の質を担保する事業や、卒前教育として基本的な臨床技能を客観的に評価する方法として導入されているOSCE(Objective Structured Clinical Examination)へ協力する事業等を展開する。研修会の内容は講座のみならず、ワークショップやグループワーク等を行い、情報の共有化に努める。

#### 【事業例】

##### ●臨床実習指導者研修事業

(事業内容)

臨床実習の位置付け、指導者側である臨床の理学療法士の役割、学生理解、教育目標から教育評価、問題解決方法と臨床指導方法など広範にわたり、臨床理学療法士が適切に安心して学生指導に従事できるよう支援する内容で実施する。

(対象者)

・理学療法士、リハビリテーション関連職種(作業療法士、言語聴覚士など)

(共催)

・なし

(財源)

・正会員受取会費および受講費収入

(事業報告)

##### ○臨床実習指導者講習会

日 時:令和3年10月2日・3日、11月6日・7日、12月11日・12日、令和4年1月22日、23日(土日での16時間)

場 所:オンライン

内 容:日本理学療法士協会が示している内容に沿って計画

講 師:中央講習会を受講した理学療法士

受講料:会員:無料、非会員:20,000円、他県会員:1000円(資料代)、作業療法士(士会会員):無料

参加者:179名(会員159名、他県会員7名、非会員5名、他職種OT8名)

##### ○養成校との情報交換会

日 時:令和4年2月17日 19:00~20:30

場 所:オンライン 又は 佐賀県理学療法士会事務所

内 容:九州ブロック臨床実習関係担当者会議の報告

次年度の事業確認等

都道府県講習会実施計画について

参加者数:15名(佐賀県理学療法士会10名、緑生館1名、西九州大学2名、武雄看護リハ2名)予定

### 4. 関連団体との連携および協力に関する事業

#### 【趣旨・目的】

超高齢化社会を迎え、高齢者が尊厳を保ちながら、住み慣れた地域で自立した生活をおくることができるよう、地域包括ケアシステムの構築が急がれている。そのためには医療や介護に携わる多職種間の連携が必要不可欠である。リハビリテ

シオン関連団体との共同企画による医療・保健・福祉の発展に寄与する研修会、人材育成等の事業を通して、地域社会における高齢者、障害者福祉の増進、県民の医療・保健・福祉の増進に寄与することを目的とする。学術技能向上の事業と類するが、リハビリテーション関連職種との共同事業という視点から一つにまとめた。

#### 【事業内容】

地域や職場で医療や介護に従事する多職種向けに研修会を開催する。研修内容は、地域包括ケアシステムの構築を見据え、多職種の人材育成に寄与できるようなものとし、リハビリテーション医学や介護予防、訪問リハビリテーションなどの講座に加え、実技指導やグループワーク等を行うことにより、より効果的で実践的な介入が可能となるような内容とする。

#### 【事業例】

##### ●リハビリテーション介護技術研修事業

(事業内容)

職場や地域で介護に関わる業務に従事されている専門職の方々を対象に、介護技術に関する講演や実技指導等を行う(対象者)

・医療・介護に従事している専門職(看護師、介護福祉士、ヘルパー、作業療法士、言語聴覚士など)

(財源)

・正会員受取会費および受講費収入

(事業報告)

##### ○第1回 リハビリテーション介護技術研修会

日 時:令和3年8月25日 18:30~20:00

場 所:オンライン

内 容:「リハビリテーション介護概論と福祉用具の活用について」

「介助者の身体の使い方と対象者の身体のサポート」

「ベッド上移動・寝返り・起き上がり動作のサポートと福祉用具活用」

「現場での実践・定着のための組織づくり」

講 師:塚原大和氏(宇都宮病院)

受講料:無料

参加者:19名(会員5名、他職種OT2名、ST3名、介護福祉士8名、その他1名)

##### ○第2回 リハビリテーション介護技術研修会

日 時:令和3年9月29日 18:30~20:00

場 所:オンライン

内 容:「リハビリテーション介護概論と福祉用具の活用について」

「介助者の身体の使い方と対象者の身体のサポート」

「立ち上がり・移乗動作のサポートと福祉用具活用」

「現場での実践・定着のための組織づくり」

講 師:塚原大和氏(宇都宮病院)

受講料:無料

参加者:29名(会員3名、他職種OT1名、ST3名、介護福祉士19名、看護師2名、その他1名)

##### ○第3回 リハビリテーション介護技術研修会

日 時:令和3年10月20日 18:30~20:00

場 所:オンライン

内 容:「リハビリテーション介護概論と福祉用具の活用について」

「介助者の身体の使い方と対象者の身体のサポート」

「ベッド上での圧抜き・姿勢の整えとポジショニング」

「現場での実践・定着のための組織づくり」

講 師:塚原大和氏(宇都宮病院)

受講料:無料

参加者:24名(会員5名、他職種OT3名、介護福祉士13名、看護師1名、その他2名)

##### ○第4回 リハビリテーション介護技術研修会

日 時:令和3年11月24日 18:30~20:00

場 所:オンライン

内 容:「リハビリテーション介護概論と福祉用具の活用について」

「介助者の身体の使い方と対象者の身体のサポート」

「ベッド上移動・寝返り・起き上がり動作のサポートと福祉用具活用」

「現場での実践・定着のための組織づくり」

講 師:塚原大和氏(宇都宮病院)

受講料:無料

参加者:24名(会員4名、他職種OT4名、介護福祉士12名、看護師2名、その他2名)

#### ○第5回 リハビリテーション介護技術研修会

日 時:令和3年12月22日 18:30~20:00

場 所:オンライン

内 容:「リハビリテーション介護概論と福祉用具の活用について」

「介助者の身体の使い方と対象者の身体のサポート」

「立ち上がり・移乗動作のサポートと福祉用具活用」

「現場での実践・定着のための組織づくり」

講 師:塚原大和氏(宇都宮病院)

受講料:無料

参加者:33名(会員4名、他職種OT2名、介護福祉士21名、看護師3名、その他3名)

#### ○第6回 リハビリテーション介護技術研修会

日 時:令和4年1月26日 18:30~20:00

場 所:オンライン

内 容:「リハビリテーション介護概論と福祉用具の活用について」

「介助者の身体の使い方と対象者の身体のサポート」

「ベッド上での圧抜き・姿勢の整えとポジショニング」

「現場での実践・定着のための組織づくり」

講 師:塚原大和氏(宇都宮病院)

受講料:無料

参加者:34名(会員3名、他職種OT1名、介護福祉士25名、看護師3名、ケアマネージャー2名)

#### ●診療報酬・介護報酬研修事業

(事業内容)

医療・県下の医療機関、介護保険関連施設、教育機関等に従事している会員ならびに関係職種に向け、医療保険制度、介護保険制度を正しく理解できるよう、研修会ならびに情報交換会を開催する。

(対象者)

・リハビリテーション関連職種(理学療法士、作業療法士、言語聴覚士など)

(共催)

・なし

(財源)

・正会員受取会費

(事業報告)

#### ○診療報酬・介護報酬改定研修会

日 時:令和3年9月26日

場 所:オンライン

内 容:

「人生 100 年時代に向けて理学療法士のあり方～診療報酬・介護報酬からみて～」

講 師:友清直樹 氏(PT・OT・STnet代表)

「佐賀県内のリハビリテーションの取り組み」

講 師:片渕宏輔 氏(佐賀県医療センター好生館)

「佐賀県内における介護保険分野(在宅系)の取り組み」

講 師:大川内直木 氏(JCHO佐賀中部病院附属介護老人保健施設)

参加者:28名(県内会員27名、他県会員1名)

受講料:会員:無料、非会員:10,000円、他県会員:500円、他職種:500円、学生:無料

#### ●地区別研修会事業

(事業内容)

・地域包括ケアシステムの構築推進にあたり、各地区の特性に応じた対応ができるように、理学療法士はじめリハビリテーション関連職種の資質向上を図り、地域住民への健康増進、介護予防に資する人材育成のための研修会を開催する。

(対象者)

佐賀県理学療法士会会員、リハビリテーション関連職種

(共催)

・なし

(財源)

・正会員受取会費  
(事業報告)

○中部広域部研修会(地域包括ケアシステム研修会)

日 時:令和4年2月11日(金)18:00~19:30

場 所:オンライン

内 容:地域高齢者のフレイル対策と行動変容の応用

講 師:山津幸司氏(佐賀大学)

受講料:会員:無料、非会員:10,000円、他県会員:無料、他職種:無料、学生:無料

参加者:会員35名

○杵藤広域部研修会(多職種研修会)

日 時:令和4年3月22日(火)19:00~20:45

場 所:オンライン

内 容:災害リハビリテーションについて~災害支援看護師からみて~

講 師:大曲史悦氏(佐世保中央病院 看護師)

受講料:会員:無料、非会員:10,000円、他県会員:無料、他職種:無料、学生:無料

参加者:21名(会員18名、他職種ST1名、医師1名、看護師1名)

○伊万里有田広域部研修会

日 時:令和3年11月16日(火)19:00~20:30

場 所:オンライン

内 容:腱板断裂の診断と治療

講 師:秋山隆行氏(伊万里有田共立病院 医師)

受講料:会員:無料、非会員:10,000円、他県会員:500円、他職種:500円、学生:無料

参加者:36名(会員35名、他職種OT1名)

○唐津東松浦在宅医療・介護多職種研修会(唐津東松浦医師会と共催)

日 時:令和4年1月24日~2月28日(配信期間)

場 所:オンライン限定無料配信

内 容:介助方法の基礎編~コツ!を知って介助を行おう~

●職域別研修会事業

(事業内容)

・高度急性期、急性期、回復期、生活期など、職域別の特性に応じた対応ができるように、理学療法士はじめリハビリテーション関連職種の資質向上を図り、地域住民への健康増進、介護予防に資する人材育成のための研修会を開催する。

(対象者)

佐賀県理学療法士会会員、リハビリテーション関連職種

(共催)

・なし

(財源)

・正会員受取会費

(事業報告)

○日本理学療法士協会管理者初級研修会

日本理学療法士協会管理者初級研修会

日 時:令和3年6月6日(日)11:00~12:20

場 所:オンライン

内 容:日本理学療法士協会初級の内容及び各領域における管理に関する内容

講 師:初級 大川内直木氏(JCHO佐賀中部病院附属介護老人保健施設)

受講料:会員:無料、非会員:10,000円、他県会員:無料、他職種:無料

参加者:会員12名

○職域別研修会

日 時:令和3年6月6日(日)13:30~16:30

場 所:オンライン

内 容:令和3年度介護報酬改定への対応

講 師:福井啓介氏(宇都宮病院)、縄手利彦氏(諸隈病院)、土井秀幸氏(ユートピアしゃくなげ)

受講料:会員:無料、非会員:10,000円、他県会員:無料、他職種:無料

参加者:会員11名

## 5. 体験活動等による理学療法の知識の普及・啓発事業

### 【趣旨・目的】

県民に対する理学療法啓発活動により、理学療法業務の理解を深め、理学療法士に対する認識を向上させることを目的とする。さらに介護予防、ロコモティブシンドローム予防など、県民の疾病予防、健康増進のための体験活動等を通じ、県民のリハビリテーションについての知識向上を図り、県下の保健・医療・福祉の質的向上を目指すものである。

### 【事業内容】

イベント会場や理学療法士が勤務する職場において、理学療法の業務内容や介護予防等に関するパネル展示による啓発活動や理学療法に関する体験活動、相談事業を通じて、理学療法士とその活動について多くの県民に知っていただく。

### 【事業例】

#### ●職場体験事業

(事業内容)

理学療法に関する普及活動によって県民の健康増進ならびに障害や疾病予防に貢献できる次世代の理学療法士の育成に寄与することを目的とした。具体的には、県内の高等学校(公立・私立)へ案内文やパンフレットを送付し、希望する高校生を対象に県内の医療・福祉施設に協力を得て職場体験を実施し、リハビリテーションおよび理学療法の啓発活動を行う(対象者)

・県内の高校生

(共催)

・なし

(財源)

・正会員受取会費

(事業報告)

#### ○職場体験事業

\*新型コロナの影響により中止とした

#### ●理学療法週間イベント事業

(事業内容)

理学療法や介護予防等に関するパネル展示による啓発活動や、体組成計での計測、運動機能評価などを体験してもらう。体験された方へ評価結果などをフィードバックすることにより、県民の生活習慣病や介護を要する状態とならないための予防、積極的な健康づくり運動への意識高揚を目指す。

(対象者)

・一般県民

(共催)

・なし

(財源)

・正会員受取会費

(事業報告)

#### ○理学療法週間介護予防・健康増進キャンペーン

開催日:令和3年7月11日(日)10:00~12:00

場 所:オンライン

対 象:一般県民

内 容:①10:00~11:00 介護予防とフレイル ②11:00~12:00 健康増進と健康寿命

講 師:①岩坂知治氏(副島整形外科病院) ②岩永隆氏(特別養護老人ホームくにみ)

#### ○杵藤広域部 介護予防・健康増進キャンペーン

開催日:令和3年7月11日(日)8:30~12:30

場 所:道の駅しろいし

対 象:一般県民

内 容:リーフレット配布、アンケート

#### ○鳥栖広域部 介護予防・健康増進キャンペーン

開催日:令和3年7月11日(日)10:00~13:00

場 所:フレスポ鳥栖

対 象:一般県民

内 容:パネル展示、施設内ウォーキング

#### ○伊万里有田広域部 介護予防・健康増進キャンペーン

開催日:令和3年7月11日(日)~7月18日(日)展示期間

場 所:伊万里市図書館 展示ホール

対 象:一般県民

内 容:伊万里市図書館でのポスター掲示、アンケート

○唐津東松浦広域部 介護予防・健康増進キャンペーン

開催日:令和3年7月4日(日)～7月11日(日)展示期間

場 所:唐津市近代図書館等

対 象:一般県民

内 容:唐津市近代図書館等でポスター掲示、ねっつ配布

●地区イベント参加事業

(事業内容)

地域で行われている行事に参加し、理学療法士の啓蒙活動及び介護予防についての普及・啓発活動を行う。

(対象者)

・一般住民

(共催)

・なし

(財源)

・正会員受取会費

(事業報告)

○白石町べったんこ祭介護予防健康増進キャンペーン

\*新型コロナウイルスの影響により中止

○鯨の門まつり(中部広域)

\*新型コロナウイルスの影響により中止

○鳥栖広域部 介護予防・健康増進キャンペーン

\*新型コロナウイルスの影響により中止

○鳥栖広域部 とすカフェイベント

開催日:令和3年度 4, 6, 7, 9, 10, 11, 12月 第3木曜日11:00～15:00

場 所:フレスポ鳥栖

対 象:一般県民

内 容:まちスポ鳥栖(NPO法人)が開催するとすカフェに健康相談を行う(インボディー結果説明や健康相談)

○唐津東松浦広域部 介護予防・健康増進キャンペーン

\*新型コロナウイルスの影響により中止

◇公益目的事業について

【公益事業 1.】理学療法士の職業倫理の高揚を図るとともに、理学療法の学術及び技能の向上を推進し、もって県民の医療・保健・福祉の増進に寄与する事業

事業名	事業例
1. 理学療法を通じて、県民の医療・保健・福祉の増進に寄与するための事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一般スポーツサポート事業</li> <li>・障がい者スポーツサポート事業</li> <li>・スポーツサポート人材育成事業</li> <li>・メール等相談対応事業</li> </ul>
(2) 医療・介護保険制度の正しい理解・普及事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広報誌「ねっつ」発行事業</li> </ul>
(3) 理学療法の普及事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新人教育プログラム事業</li> <li>・専門領域研修事業</li> <li>・各地区症例検討会事業</li> </ul>
(1) 理学療法士の職業倫理高揚並びに学術及び技術の向上に関する事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学会事業</li> </ul>
(2) 学会事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学術誌発行事業</li> </ul>
(3) 学術・研究普及事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・臨床実習指導者研修事業</li> </ul>
3. 理学療法士の教育機関に協力し、理学療法士の資質の向上に寄与する事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リハビリテーション介護技術研修事業</li> <li>・診療報酬・介護報酬研修事業</li> <li>・地区別研修会事業</li> <li>・職域別研修会事業</li> </ul>
4. 関連団体との連携および協力に関する事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職場体験事業</li> <li>・理学療法週間イベント事業</li> <li>・地区イベント参加事業</li> </ul>
5. 体験活動等による理学療法の知識の普及・啓発事業	

## 【その他の事業(相互扶助事業等)】

### 1.会員の福利厚生に関する事業

#### ○会員の交流援助

(事業内容)

ゲーム大会、スポーツ大会等を通して会員の交流を目的とし、開催をサポートする

(対象者)

・会員・その他

(共催)

・なし

(財源)

・正会員受取会費

(事業報告)

#### ○杵藤広域部

日 時:令和4年3月22日(火)

場 所:オンライン

内 容:懇親会、情報交換、ミニゲーム

参加者:会員14名

#### ○中部広域部

日 時:令和4年2月11日(金)

場 所:オンライン

内 容:懇親会、情報交換、ミニゲーム

参加者:会員36名

#### ○鳥栖広域部

\*新型コロナの影響により中止

#### ○伊万里有田広域部

日 時:令和3年12月3日(金)

場 所:オンライン

内 容:懇親会、情報交換、ミニゲーム

参加者:25名(会員24名、他職種ST1名)

#### ○唐津東松浦広域部

日 時:令和4年1月21日(金)

場 所:オンライン

内 容:懇親会、情報交換

参加者:会員18名

### 2.機関誌「広報はがくれ」の発刊

(事業内容)

各種研修会等の事業報告や事業計画等について年3~4回で発行する

(対象者)

・会員等

(共催)

・なし

(財源)

・正会員受取会費

(事業報告)

年4回の発行し、各会員向けに配布した

発行部数:1400部予定

### 3.理学療法およびリハビリテーションに関する調査研究事業

(事業内容)

理学療法ならびに理学療法士が関係する医療保険分野や介護保険分野の領域を中心に、リハビリテーション関連職種の就業実態、リハビリテーションおよび理学療法の業務内容、リハビリテーションが関わる疾病構造やその種類、労働環境や労働条件、診療報酬や介護報酬に関する算定実績等の調査を実施する。調査された結果をもとにリハビリテーションを県民に提供するための問題点やあり方について検討する。

(方法)

本会会員の施設宛にアンケート内容を電子媒体にて配信し、回収作業を実施アンケート結果を基に分析を行う

(対象者)

リハビリテーション関連職種(理学療法士、作業療法士、言語聴覚士など)およびその所属する施設

(公表方法)

調査結果を取りまとめたうえで、機関誌「広報はがくれ」への掲載や研修会において会員等へ公開する。

(事業報告)

- ・2022年1月にアンケート調査を実施し、集計を行った
- ・集計結果を分析し、会員向け機関紙「はがくれvol.129」に掲載

## 【管理業務】

### 《定時総会開催》

日時:令和3年6月20日(日)10:00～12:00

開催方法:オンライン

### 《理事会開催》

- 第1回 理事会 令和3年5月22日
- 第2回 理事会 令和3年6月20日
- 第3回 理事会 令和3年7月14日
- 第4回 理事会 令和3年9月22日
- 第5回 理事会 令和3年11月9日
- 第6回 理事会 令和4年1月18日
- 第7回 理事会 令和4年3月15日

### 《各局会議》

各局において、年3～4回程度実施

### 《事務局・事務部》

- (1) 会員管理に関する事
- (2) 会員名簿の管理に関する事
- (3) 公益社団法人に関する事務手続きに関する事
- (4) 総会、理事会などの諸会議の準備・調整に関する事
- (5) 他関係団体及び行政との連携・調整に関する事
- (6) 他都道府県理学療法士会及び関連諸団体のニュース・機関誌等の保管に関する事
- (7) 定款・定款細則及び諸規程の運用に関する事
- (8) 公文書・報告書などの発送・受領及び議事録などの保管・管理に関する事
- (9) 公印の管理に関する事
- (10) 弔・祝電など適切な慶弔行為の実施に関する事
- (11) 公益社団法人日本理学療法士協会(以下、「協会」)事務局及び九州ブロック会等の連携に関する事
- (12) 物品管理に関する事
- (13) 個人番号の取り扱いに関する事
- (14) その他

### 《事務局・財務部》

- (1) 会費納入状況に関する事
- (2) 通帳管理、予算執行、複式簿記管理、税理士と連携し決算諸表作成に関する事
- (3) 出金・入金伝票及び命令簿等の管理に関する事
- (4) 必要経費支払い、各部局事業への費用調達、講師謝礼金等の納税に関する事

### 《事務局・福利厚生部》

- (1) 会員相互の親睦に関する事
- (2) 他都道府県士会との親睦に関する事
- (3) この法人の事業執行に係る保険制度の整備に関する事

- (4)他関係団体との親睦に関する事
- (5)その他

#### 《事務局・広報部》

- (1)広報・機関紙、の企画・編集・作成及び発刊・保管に関する事
- (2)この法人の発刊物、その他の発送に関する事
- (3)広報活動に必要な内外情報の収集に関する事
- (4)一般への広報活動に関する事
- (5)ホームページの管理に関する事
- (6)会員へのメール配信に関する事
- (7)公益目的事業のお知らせの更新に関する事
- (8)各種研修会情報の更新に関する事
- (9)会員への情報発信に関する事
- (10)協会刊行物の発送・保管に関する事
- (11)その他

#### 《役員等の関連する会議、その他》

##### 【全国】

公益社団法人日本理学療法士協会代議員総会・組織運営協議会・事務局長会議へ出席した

##### 【九州】

九州ブロック会士会長会議・事務局長会議へ出席した

【県内】関係団体総会、会議出席へ出席した

#### 《学術、教育関連業務、会議出席他》

##### 【公益社団法人日本理学療法士協会との連携】

・『包括的会員管理システム』への対応:生涯学習履修ポイント管理

・本会主催研修会情報の登録 ・本会主催研修会参加者名簿の送付 他

【九州】九州ブロック会学術教育担当者会議・九州ブロック会臨床実習関係者会議 へ出席した

#### 《自治体及び日本理学療法士協会からの推薦及び派遣》

【自治体】地域ケア会議、サロン、自治体が主催する会議等への人員推薦

##### 【日本理学療法士協会等】

職域別研修会、災害関係研修会、事務職員研修会、スポーツ理学療法運営担当者会議、学校保健・特別支援教育担当者会議、糖尿病対策担当者会議、訪問リハビリテーション関連会議、その他等への推薦及び派遣

#### 《委員会活動について》

##### 《表彰委員会》

- (1)各種表彰に関する候補者の選考

知事表彰候補者の推薦において片渕宏輔氏を推薦

日本理学療法士協会 協会賞候補者の推薦において片渕宏輔氏を推薦

- (2)各種表彰の準備

##### 《倫理委員会》

- (1)倫理規定の策定、啓発活動

##### 《法規検討委員会》

- (1)定款、定款細則等の各規程の検討
- (2)法人組織維持・管理に関する事。
- (3)その他

##### 《選挙管理委員会》

- (1)役員及び代議員選挙の管理・運営

##### 《政策検討委員会》

- (1)政策の提言
- (2)他団体との政策調整推進
- (3)研修会等への参加
- (3)日本理学療法士協会及び九州ブロックの会議等への出席 他

《災害対策委員会》

- (1) 災害関係の研修会への派遣
- (2) 県、自治体や佐賀リハビリテーション3団体協議会等との災害に関する連携
- (3) 日本理学療法士協会及び九州ブロックの会議等への出席 他

《感染対策委員会》

- (1) 新型コロナ感染症に関する情報収集
- (2) 必要に応じ新型コロナ感染症への本会事業等の対応方法について検討